

取扱いの趣旨

乳腺穿刺は、細い針（ファインニードル等）を乳房に穿刺し、吸引して細胞を含んだ穿刺液にて実施し、この場合の病理は穿刺吸引細胞診により算定することから、原則として乳腺穿刺（穿刺液）に対する病理組織標本作製の算定は、原則として認められない。

支払基金が公表している取扱いの全文

【病理診断】

《令和2年7月27日》

29 乳癌の診断においてD410乳腺穿刺又は針生検（片側）「2」その他により採取した検体を用いた場合のN000病理組織標本作製の算定について

○ 取扱い

乳癌の診断において、D410乳腺穿刺又は針生検（片側）「2」その他により採取した検体を用いた場合、N000病理組織標本作製の算定は原則として認めない。

○ 取扱いを作成した根拠等

D410乳腺穿刺又は針生検（片側）「2」その他は、細い針（ファインニードル等）を乳房の目的部位に直視下あるいは超音波下に誘導して穿刺、吸引して細胞を含んだ穿刺液を得る採取料であり、病理標本作製料はN004細胞診「2」穿刺吸引細胞診、体腔洗浄等によるものを算定するものである。

N000病理組織標本作製の検体採取は、D410乳腺穿刺又は針生検（片側）「1」生検針によるもの又はD417組織試験採取、切採法「10」乳腺により算定するものであり、D410乳腺穿刺又は針生検（片側）「2」その他により算定するものではない。

乳癌の診断時に実施されるN000病理組織標本作製は、「腫瘍（しこり）部分に太い針（コアニードル等）を刺し、細胞一つ一つではなく組織の塊を切り取ることで良性か悪性かの鑑別を行い、鑑別だけでなく、悪性の場合には特徴まで把握できる」病理診断である。

乳癌の診断においては、細胞診用に採取された検体から組織検体のようなパラフィンブロックを作成するセルフブロック法がある。

セルフブロック法については、N000病理組織標本作製の留意事項通知に「セルフブロック法によるもの」は、悪性中皮腫を疑う患者又は組織切片を検体とした病理組織標本作製が実施困難な肺悪性腫瘍、胃癌、大腸癌、卵巣癌若しくは悪性リンパ腫を疑う患者に対して、穿刺吸引等により採取した検体を用いてセルフブロック法により標本作製した場合に算定する」と示されているが、乳癌における取扱いは、病理標本作製料の告示及び留意事項通知に示されていない。

日本乳癌学会乳癌診療ガイドライン2015年版において、セルフブロック標本によるHER2のIHC法の信頼性については、原発巣ないし転移巣からの針生検ないし切除標本と、穿刺吸引細胞診検体を用いたセルフブロック標本との比較による検討において、アルコール固定された場合の一致率が悪く、一定の見解を得るには至っていないとされている。

乳癌におけるセルフブロック法は、告示及び留意事項通知に示されていないこと、また、診断結果の信頼性が十分ではないことから、N000病理組織標本作製により算定することはできないが、組織採取ができない場合等やむを得ない理由がある場合は、その可否を医学的に判断する必要がある。

以上のことから、乳癌の診断においてD410乳腺穿刺又は針生検（片側）「2」その他により採取した検体を用いた場合、N000病理組織標本作製の算定は、原則認められないと判断した。

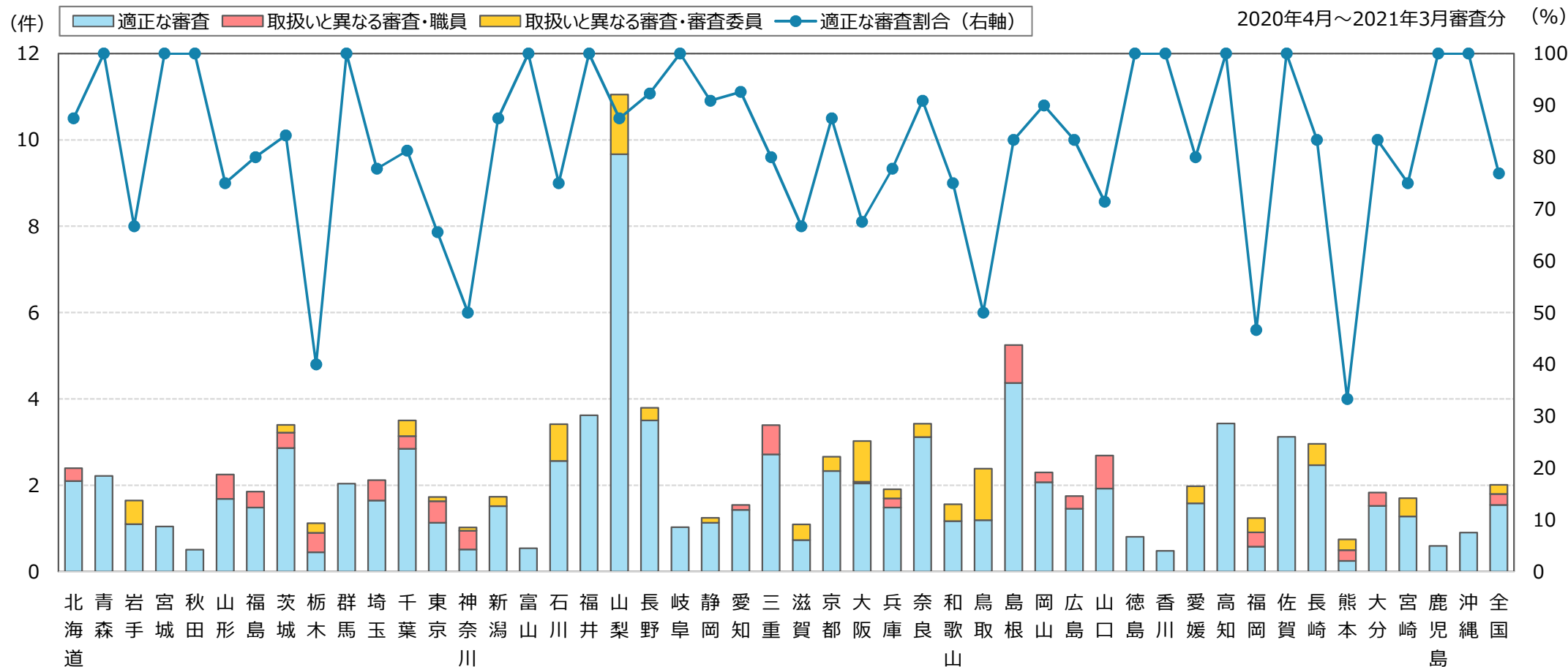
グラフの見方

1 棒グラフ（該当レセプトの審査結果）

病理組織標本作製を算定しているレセプト1万件当たり、条件（同日に病理組織標本作製と乳腺穿刺又は針生検（片側「2」を算定）に該当するレセプト件数

2 折れ線グラフ

検証の結果、適正な審査をしている割合（全国 76.88%）



【該当件数】 同日に病理組織標本作製と乳腺穿刺又は針生検（片側）「2」を算定しているレセプト件数

検証結果及び対応状況

検証観点	特に検証を要する支部	備考
①査定・返戻割合が低い支部	秋田、栃木、福岡、熊本、神奈川、鳥取、岡山	査定・返戻割合の低い順
②請求どおり・職員	岡山、島根、山口、三重、栃木、長野、山形	対象1万件当たり件数の多い順
③請求どおり・審査委員	山梨、鳥取、大阪、長野、石川、岩手、長崎	//

○特に検証を要する支部の評価及び対応状況

①査定・返戻割合が低い支部

【適正な審査割合：100%】

- 秋田

【適正な審査割合：100%未満】

- 栃木、福岡、熊本、神奈川、鳥取、岡山

②請求どおり・職員が多い支部

【取扱いと異なる審査：なし（適正な審査）】

- 長野

【取扱いと異なる審査：あり】

- 岡山、島根、山口、三重、栃木、山形

③請求どおり・審査委員が多い支部

【取扱いと異なる審査：あり】

- 山梨、鳥取、大阪、長野、石川、岩手、長崎

■①から③を通して、適正な審査と判断した主な理由

請求どおりと判断したレセプトの多くは、他の疾患に対して行われた病理組織標本作製であり、適正な審査と判断したもの ⇒対応なし

: 職員及び審査委員の認識誤り（取扱いの失念、不知等）
⇒上司の教育及び審査委員長から連絡・再周知により是正

: 職員の認識誤り（取扱いの失念、誤解等によるCCの解除）
⇒上司の教育により是正

: 審査委員の認識誤り（取扱いの不知等により医学的判断を誤ったもの）
⇒審査委員長から連絡・再周知により是正

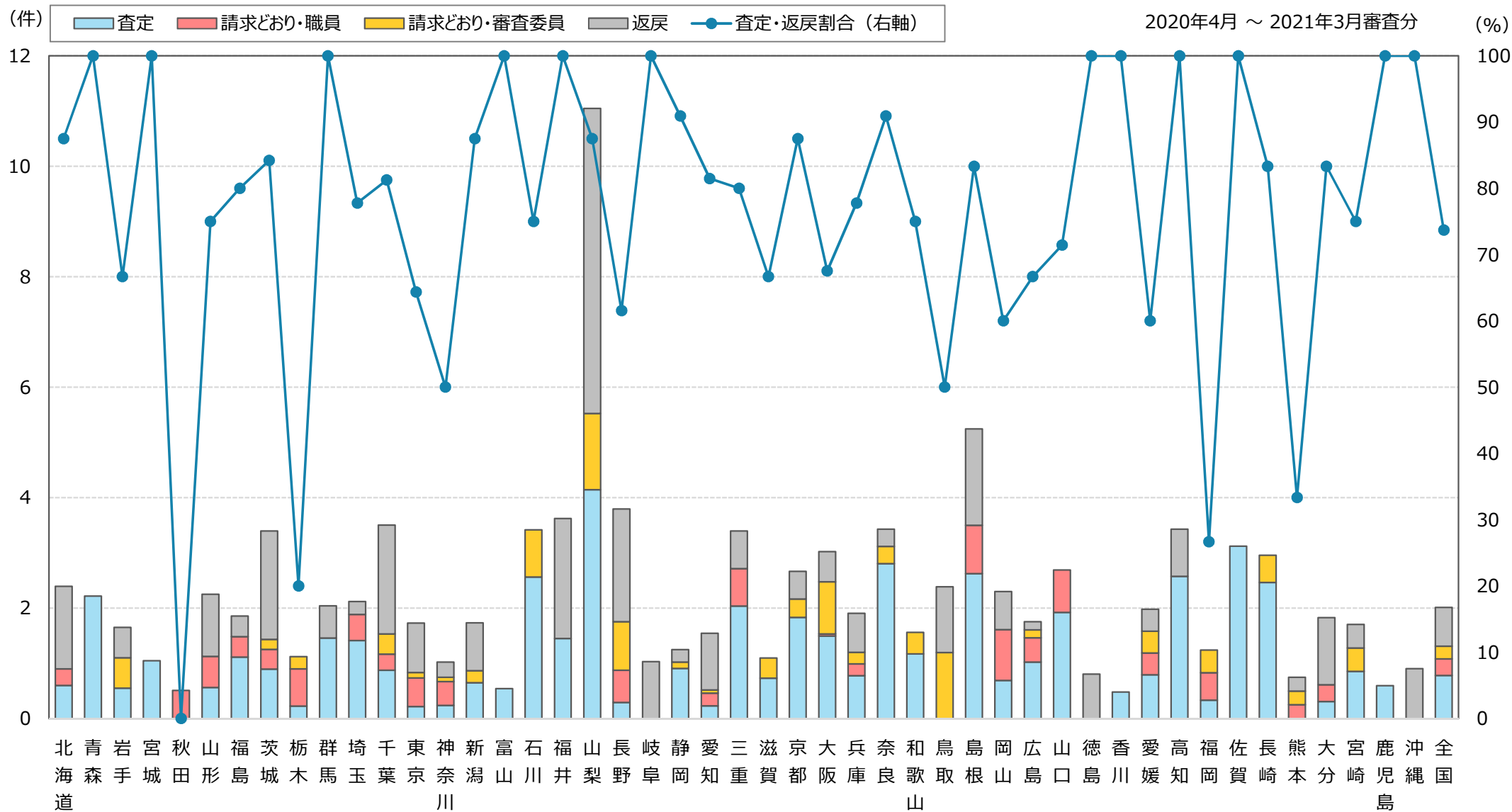
該当件数に対する検証結果

検証の結果、該当件数597件のうち、**459件（76.88%）が適正な審査結果（検証前は73.70%）**
CCの解除等による誤処理が138件（23.12%）

⇒概評：請求どおり（157件）を検証の結果、適正審査と確認されたレセプトは、傷病名や症状詳記等から、乳癌診断以外の患者に対して、病理組織標本作製を必要とした事例であった。

支部	検証結果										
	該当件数	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 (CC解除等の誤処理)			
		計	適正審査 の割合	査定・返戻			請求どおり	取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員
				査定	返戻	査定 返戻 計					
01 北海道	24	21	87.50%	6	15	21	0	3	12.50%	3	0
02 青森	4	4	100.00%	4	0	4	0	0	0.00%	0	0
03 岩手	3	2	66.67%	1	1	2	0	1	33.33%	0	1
04 宮城	4	4	100.00%	4	0	4	0	0	0.00%	0	0
05 秋田	1	1	100.00%	0	0	0	1	0	0.00%	0	0
06 山形	4	3	75.00%	1	2	3	0	1	25.00%	1	0
07 福島	5	4	80.00%	3	1	4	0	1	20.00%	1	0
08 茨城	19	16	84.21%	5	11	16	0	3	15.79%	2	1
09 栃木	5	2	40.00%	1	0	1	1	3	60.00%	2	1
10 群馬	7	7	100.00%	5	2	7	0	0	0.00%	0	0
11 埼玉	27	21	77.78%	18	3	21	0	6	22.22%	6	0
12 千葉	48	39	81.25%	12	27	39	0	9	18.75%	4	5
13 東京	87	57	65.52%	11	45	56	1	30	34.48%	25	5
14 神奈川	26	13	50.00%	6	7	13	0	13	50.00%	11	2
15 新潟	8	7	87.50%	3	4	7	0	1	12.50%	0	1
16 富山	1	1	100.00%	1	0	1	0	0	0.00%	0	0
17 石川	8	6	75.00%	6	0	6	0	2	25.00%	0	2
18 福井	5	5	100.00%	2	3	5	0	0	0.00%	0	0
19 山梨	16	14	87.50%	6	8	14	0	2	12.50%	0	2
20 長野	13	12	92.31%	1	7	8	4	1	7.69%	0	1
21 岐阜	4	4	100.00%	0	4	4	0	0	0.00%	0	0
22 静岡	11	10	90.91%	8	2	10	0	1	9.09%	0	1
23 愛知	27	25	92.59%	4	18	22	3	2	7.41%	2	0
24 三重	10	8	80.00%	6	2	8	0	2	20.00%	2	0

支部	検証結果										
	該当件数	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 (CC解除等の誤処理)			
		計	適正審査 の割合	査定・返戻			請求どおり	取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員
				査定	返戻	査定 返戻 計					
25 滋賀	3	2	66.67%	2	0	2	0	1	33.33%	0	1
26 京都	16	14	87.50%	11	3	14	0	2	12.50%	0	2
27 大阪	77	52	67.53%	38	14	52	0	25	32.47%	1	24
28 兵庫	27	21	77.78%	11	10	21	0	6	22.22%	3	3
29 奈良	11	10	90.91%	9	1	10	0	1	9.09%	0	1
30 和歌山	4	3	75.00%	3	0	3	0	1	25.00%	0	1
31 鳥取	2	1	50.00%	0	1	1	0	1	50.00%	0	1
32 島根	6	5	83.33%	3	2	5	0	1	16.67%	1	0
33 岡山	10	9	90.00%	3	3	6	3	1	10.00%	1	0
34 広島	12	10	83.33%	7	1	8	2	2	16.67%	2	0
35 山口	7	5	71.43%	5	0	5	0	2	28.57%	2	0
36 徳島	1	1	100.00%	0	1	1	0	0	0.00%	0	0
37 香川	1	1	100.00%	1	0	1	0	0	0.00%	0	0
38 愛媛	5	4	80.00%	2	1	3	1	1	20.00%	0	1
39 高知	4	4	100.00%	3	1	4	0	0	0.00%	0	0
40 福岡	15	7	46.67%	4	0	4	3	8	53.33%	4	4
41 佐賀	5	5	100.00%	5	0	5	0	0	0.00%	0	0
42 長崎	6	5	83.33%	5	0	5	0	1	16.67%	0	1
43 熊本	3	1	33.33%	0	1	1	0	2	66.67%	1	1
44 大分	6	5	83.33%	1	4	5	0	1	16.67%	1	0
45 宮崎	4	3	75.00%	2	1	3	0	1	25.00%	0	1
46 鹿児島	2	2	100.00%	2	0	2	0	0	0.00%	0	0
47 沖縄	3	3	100.00%	0	3	3	0	0	0.00%	0	0
全国	597	459	76.88%	231	209	440	19	138	23.12%	75	63



【該当件数】 同日に病理組織標本作製と乳腺穿刺又は針生検（片側）「2」を算定しているレセプト件数